

# 技 が輝く

## 日向榧碁盤・将棋盤

碁盤・将棋盤には一般に榧<sup>カヤ</sup>や桂<sup>カツラ</sup>が使われていますが、特に宮崎県産のカヤの木は「日向本ガヤ」と呼ばれ、美しい艶<sup>ツヤ</sup>や色と香りで弾力性に富み、碁盤と将棋盤に最適とされています。

樹齢数百年のカヤ材を木取りしますが、木取りには榎<sup>まき</sup>目と板目とがあり、榎目が高級とされています。

盤面の線引きは、黒漆を日本刀で盛る「太刀盛<sup>タチカミ</sup>」という伝統の技で行います。

また、クチナシの実をかたどった手作りの脚は、かくれた芸術品と言



日向榧碁盤



作業風景



われま。勝負にクチナシで勝負に言い訳や口出しは許さないとの意味が込められているそうです。

日向カヤ碁盤と将棋盤は、碁と将棋をする人たちが憧れてやまない、宮崎を代表する工芸品の一つです。

## 日向はまぐり碁石

碁石の原料は、白石と黒石で異なりますが、白石は日向市のお倉ヶ浜で採れる日向蛤（スワブテ蛤）が最上とされています。

日向蛤の碁石の特徴は、やわらかな乳白色の輝きや無数の細やかな縞が走り、組織が硬く緻密なため、丈夫で打つときの感触が良い点です。

日向蛤が原料として見いだされたのは、今から百年ほど前に富山の薬売りが浜で拾ったのがきっかけだと言われている。その後、大阪の碁石職人が移り住み、製造が始まりました。

今では、日本唯一のはまぐり碁石の産地となっています。高級品は、すべて手作りで作り上げられるまでに三カ月を要し、はまぐり碁石特有の丸みを出す手ずりの技は職人技です。



日向はまぐり碁石

## 宮崎県

# 日向榧碁盤・将棋盤

# 日向はまぐり碁石

お問い合わせ

宮崎県商業支援課

TEL 〇九八五―二六―七一一三

(社)宮崎県物産振興センター

TEL 〇九八五―二二―七三八九